

研修医だより

私の研修一年

中谷真紀子

運命の医師国家試験合格発表から、早1年がたちました。短かったような気もしますし、同時に、長かったような気もします。どちらにしても、この先何十年にもわたって記憶に残りそうな一年でした。

初めてこの名寄の地に降り立ち、「一番大きな本屋はどこですか」と聞けば、「T●UTAYAです」という答えが返ってきました。平日19時につば●に行けば、「現在満席で、2組待ちです」と言われました。そんな、我が故郷を彷彿とさせるこの街の中心の病院で、なんとか(?) 麻酔科、内科、外科を回ってきました。もともとあまりできない方ではなく、各所にご迷惑をかけまくってしまったことを、この場をお借りして謝罪したいと思えます。

アンプルの切り方すら知らなかった私にも、めげずに指導してくださった諸先生方、落ち込んだときにはいつでも胸を貸してくださった看護師の皆さん、常にやさしく、時には厳しく支えてくださったスタッフの方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。こんな気持ちで終了することができたのも、この病院だったからこそだと思います。いつか、何らかの形で恩返しできれば、と思っておりますが、まずはその「いつか」のときのために、もっと勉強しなければ…

天網恢恢疎にして洩らさず

塩谷 隆太

早いものでもう名寄にも雪解けの季節の足音が聞こえてまいりました。

桜の咲き誇る映像をテレビで尻目に、雪の中ただひたすら高速道路を北へ北へと向かっていたあの日をまるで一年前かのように鮮明に思い出すことができます。期待と不安と冷静と情熱との間にはじまった新生活。社会人一年目。友達百人できるか、とても心配でしたが、上の先生方をはじめ素敵な病院の人々に囲まれまるで夢のような日々は特殊相対性理論にもとづき、通常的时间軸より速く流れていきました。この素晴らしい病院で素晴らしい人たちに囲まれて、社会人一年目という時期を過ごさせて頂けたことをメタファーとしての神に感謝いたします。人生の宝物です。つくづく人生は人と人との繋がりが全てである、と感じました。何かと大変な時勢ではありますが、名寄市立総合病院にますますの発展と平穏が訪れることを心より願っております。

3.28 医局にて記す